

*** 今日の健康 (12月) ***

< 1. インフルエンザ流行の兆しか、 2. H7N9の海外情報、 2013-2014 >

1. インフル患者急増、日本各地で学級閉鎖相次ぐ (新聞記事、東京都医師会報より)

今シーズン 11 月からインフルエンザの罹患者が急増し、患者の報告数(定点医療機関約 5000 か所)が 5 週連続で増加し、東京都内の一部地域や北海道で流行入りの目安を超え、千葉や埼玉、長野、岩手、福岡の小学校などで集団感染が発生。26 日以降にそれぞれ学級閉鎖などの休業措置が取られています。

	学校数	学級数	欠席者数
板橋区	1	3	16
三鷹市	1	2	21
小平市	1	3	24
国分寺市	1	1	8

東京では 11 月 18 日から 24 日までの 1 週間、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖 9、欠席者数 69 人と報告されています。(東京都医師会 H25 年第 4 報)

東京都内は、定点医療機関あたり前週比 3 倍超の報告数となった多摩府中保健所管内で、流行入りの目安を上回る 1.52 人を記録しました。

感染の拡大に伴い、各地の教育施設で学級閉鎖などが続出。長野県の飯田、安曇野両市、千葉県習志野市、埼玉県寄居町の小学校で学級閉鎖、岩手県花巻市の小学校で学年閉鎖、福岡県糸島市の幼稚園で休校の措置がそれぞれ取られています。

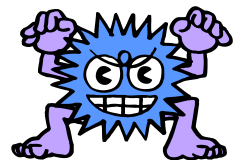
2. H7N9 鳥インフル、香港では初の感染例

今年初めに中国大陸で感染者が続出し、これまでに 139 人が感染、45 人が死亡した H7N9 鳥インフルエンザウイルスについて、香港の衛生当局が 12 月 2 日に同地域初の感染例を確認したと発表した。中国メディア・新華網が報じました。

記事は、香港特別行政区食物・衛生局の高永文局長が 12 月 2 日夜、現地で初めての H7N9 感染例を確認し、患者は現在病院で治療を受けていることを明らかにしたと伝えています。

上記感染症例が確認されている地域に渡航・滞在を予定されている方は、最新情報を随時確認の上、以下の注意事項を参考にしてください

- 生きた鳥を扱う市場や家禽飼育場への立入を避ける。
- 死んだ鳥や放し飼いの家禽との接触を避ける。
- 鳥の排泄物に汚染された物との接触を避ける。
- 手洗い、うがいにつとめ、衛生管理を心がける。
- 外出する場合には、人混みは出来るだけ避け、人混みではマスクをする等の対策を心がける。
- 突然の発熱や咳など、呼吸器感染症の症状が現れた場合には、速やかに最寄りの医療機関を受診すること。



年末年始に海外渡航を予定されている方は、空港には香港・中国からの乗り継ぎ客もいるため、日本国内の空港であっても国際空港では注意が必要です。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏